

袋路の2方向避難経路が完成しました！

平成28年3月、行き止まりの路地でも災害時に2方向避難ができるよう、「すぐに取り組む具体的な対策」の一環として加賀屋町と東西俵屋町で進めていた2方向避難経路が完成しました。

ご協力頂いた関係者のみなさま、住民のみなさま、ありがとうございました。

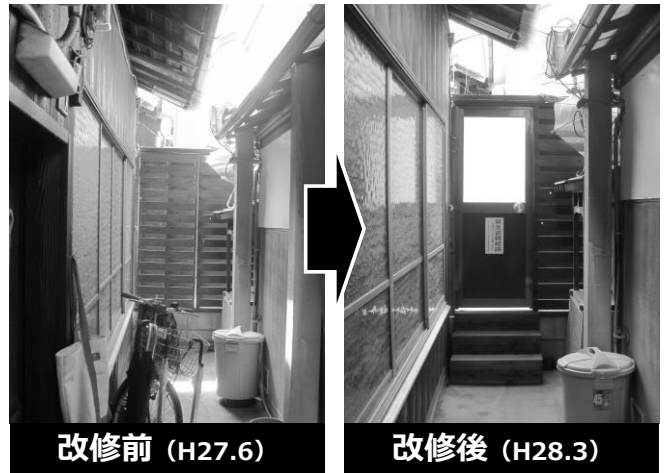
この取組は、平成27年度に取り組んだ「防災まちあるき」やその後の「防災まちづくりに関する意見交換会」において防災上の課題として整理したもので、町内会長や組長、地域住民のみなさん、所有者のみなさんのご協力のもとで対策を進めてきたものです。

今後も、地域の方と一緒に、「防災まちづくり」の取組を進めていきますので、引き続き、ご協力よろしくお願ひします！

東西俵屋町



加賀屋町



緊急避難経路整備事業

内容：袋路から安全な場所へ避難できるように避難路を確保する工事

助成額：上限30万円（全額補助）

問合せ先：京都市まち再生・創造推進室

（密集市街地・細街路対策担当）

電話：222-3503

この制度を活用して2方向避難経路を確保しました！



加賀屋町の路地では、鍵が錆びて開かなかった扉の改善も合わせて進めました！

災害につよいまちを目指して、昨年度の「防災まちあるき」や「防災まちづくりに関する意見交換会」を踏まえて、袋路の2方向避難経路の確保のほか、袋路始端部建物の改善やブロック塀の改修、災害時の避難や延焼防止に役立つ防災ひろばの整備などの検討を進めています。

■ 今年度も積極的に『防災まちづくり』に取り組みます！

正親学区では、昨年度から、『正親学区防災まちづくり委員会』を立ち上げ、地域の魅力や良さを大切にしながら、安心・安全に住み続けられる災害に強いまちを目指して『防災まちづくり』の取組を始めています。今年度は、引き続き、袋路の2方向避難経路の確保などの「**すぐに取り組む具体的な対策**」に取り組むとともに、住民みなさんの想いを反映しながら、『防災まちづくり計画』づくりに取り組みますので、今後ともご協力をお願いします。

今年度の『防災まちづくり』の取組（案）

『防災まちづくり計画』の検討

災害につよいまちを目指し、防災まちづくりの目標や方針等を検討します。



.....
 防災まちづくり計画って？

『防災まちづくり計画』とは、災害の被害から人命と財産を守るために、継続して「防災まちづくり」に取り組む考え方や具体的な取組等を取りまとめるものです。

住民みなさんとの意見交換

昨年度に引き続き、住民みなさんと地域の現状・課題を共有し、課題解決の方向性や具体的な取組、防災まちづくりの目標などについて話し合う意見交換会（ワークショップ）等を行います。

連携

「すぐに取り組む具体的な対策」の実行

引き続き、「すぐに取り組む具体的な対策」に取り組みます。

すぐに
 取り組む
 対策

- ・袋路の2方向避難経路の確保
- ・袋路始端部建物の改善
- ・ブロック塀の改善
- ・防災ひろばの整備
- 等

■ 建物を地震に強くするためのお得情報をお届けします！

地震の被害から、みなさんの命と財産、そして正親学区のまちを守るために、「倒れない・燃えにくい建物づくり」が大切です。京都市では、木造住宅の耐震化が積極的に進められています。

※昭和56年以前に建てられた木造住宅が対象です。

自分の家は
 どのくらい
 地震に強いのか？

まずは、ご自宅の**耐震診断**を受けましょう。

京都市から耐震診断士が派遣されます。平成28年度は**診断無料**です！

しっかりと
 地震に強い
 家にしたい！

ご自宅を**耐震改修**しましょう。

木造住宅が最大60万円、京町家等が最大90万円の補助が受けられます！正親学区では、防火対策を併せて行うことで、補助額が**最大15万円～30万円上乗せ**されます！

まずは、
 できるところから
 家を改善したい

ご自宅の古くなった部分を**改善**しましょう。

土台や柱の修繕（補助額最大20万円）、屋根の軽量化（補助額最大20万円）など、
合計60万円の補助が受けられます。

正親学区では、防火対策を併せて行うことで、補助額が**最大15万円上乗せ**されます！